

発行日 2021年12月23日
発行人 鎌田 實
発行所 日本チェルノブイリ連帯基金

イラスト題字 貝原 浩
イラスト 榎野ひかり
スタッフ 神谷さだ子
横内香苗
リカ アルカザイル
本山 香
印刷 電算印刷

福島県南相馬市から感謝状

11月4日、福島県南相馬市から感謝状が届きました。2011年、東日本大震災と福島第一原発事故にJCFはチェルノブイリ支援の経験から、松本市民の皆さんから寄せていただいたカップ・海苔・毛布・布団等々を4トン車いっぱいに詰めて、3月20日の深夜、諏訪中央病院の医療チームと共に南相馬市に向かいました。以来、ガラスバッジ装着、食品と土壌の放射能測定、保養、健康診断など、内部・外部被ばくを防ぐ取り組みを続けています。そんな中、福島にたくさんの友人ができました。感謝状にJCFを推薦してくださったのは、南相馬市原町でクリーニング店を営みながら、「みんな共和国」という子ども達を守る活動をされていた高橋美加子さんです。感謝状はこそばゆい限りですが、こうしたつながりこそが私たちの宝ものです。

「感謝状を受け取っていただきありがとうございます。震災・原発事故の時の支援の速さに感服しました。不安だらけの中で早々と駆けつけてくださった事は、現場にとっては大きな力となりました。」



それから10年、局面が変わる度に、必要な支援を続けてくださり、本当に力づけられています。人と人の確かなつながりが生まれるのも、JCFの常日頃の活動の姿勢だからこそ、と感謝しております。このつながりを大切に育てていきたいと思っています。これからもよろしく願いいたします。」

高橋 美加子

インターネットでYouTubeを検索 →
日本チェルノブイリ連帯基金 →
チャンネル登録をクリック
https://www.youtube.com/watch?v=VQUf4IUOx_E



どの子のいのちも皆輝いている



編集後記

クリスマスが近づくと、子ども達はサンタさんからのプレゼントを想像し、気持ちがはやるのだらうか。私は、クリスチャンではないので、キリストのお誕生日と言われても、その物語はフィクション。松本で同居しているリカ先生はオーソドックスのクリスチャンなので、24日は教会のミサに行かれる。

今、イスラム圏の国々でも、ロシア正教（トルコ経由のオーソドックス）の国々でも、同じ様に街にはクリスマス・ソングが流れ、お祭りになるようだ。神道と仏教、お祭りが混在している私の周りでは、年末年始は宗教観とは関わりがあるのか無いのか、一連のイベントは続いていく。コロナ禍や年齢的にも死と生について思いを巡らすこの頃です。
神谷

◆ JCF へのご寄付は寄附金控除の対象になります。
JCFは長野県から「認定NPO法人」として認定されております。

◆ JCF 寄付・会費振込口座

正会員年会費(1口)	10,000円
賛助会員年会費(1口)	3,000円
郵便振替口座番号	00560-5-43020
加入者名	日本チェルノブイリ連帯基金

イラク医療支援振込口座は左の口座に統合しました。統合口座で、イラク支援に寄付ができます。引き続きご支援の程よろしくお願い致します。

● 特定非営利活動法人

日本チェルノブイリ連帯基金 (JCF)
〒390-0303 長野県松本市浅間温泉2-12-12
TEL 0263-46-4218 FAX 0263-46-6229
E-mail asama@jcf.ne.jp Website http://jcf.ne.jp



感想をおきかせください



Eメール ウェブサイト



Facebook

SNSで
情報発信
しています!

イラクの小児がんに対する 医学的および学術的支援

リカ・アルカザイル

リカ・アルカザイル医師は、イラクの小児血液・がんの専門医です。2014年、イラム国に脅迫され、来日する運びになりました。先生は、JCFでイラク支援を担いながら、信州大学で、イラクの小児白血病研究を進めてきました。この秋から、研究成果を学会で発表すると共に論文を学術誌に投稿しています。政治・経済が混乱、逼迫しているイラクの子ども達を救いたいというJCFの活動を学術的な観点から語っていただきました。



イラク時代は毎月誕生月の子供たちのBirthdayを祝った。写真は2007年

イラクでは過去40年間の戦争とその余波の間、医療制度やその他の生活面に深刻な打撃がありました。医療において癌の分野は診断面でも十分ではなく、ジレンマに直面していました。特に、急性リンパ性白血病（ALL）や急性骨髄性白血病（AML）を含む小児急性白血病の診断は、形態、免疫組織化学、お

よびフローサイトメトリーを使用した免疫表現型検査に基づいており、遺伝子解析はまだ利用できません。診断方法が限られているので、病気治療の管理とその結果に悪影響を及ぼします。さらに、イラク南部のバスラの調査によれば、小児白血病の発生率は15年間（1993～2007年）で2倍になっていることが



以前に示され、クウェートやオマーンなどの近隣諸国と比較した場合、この傾向は重要な問題であると見なされました。米国と比較した場合も同様です。2003年以降、数人の日本人NPOと日本人医師が、イラクのがんの子供たちを支援することを考え始めました。イラクの小児腫瘍学センターを支援したトップ組織の中には、JIM-NETとネットワークを組んでいるJCF/日本チェルノブイリ連帯基金があり、プロジェクトのリーダーとして鎌田実先生がいました。信州大学医学部は、JICA奨学金を通じて私を含むイラクの医師に研修を提供し始めた最初の学術機関でした。その間、JIM-NETとJCFは私や他のイラクの小児腫瘍医と協力してニーズを理解していたため、毎年定例専門家会議を開き、日本からも参加しました。イラクのいくつかの州からイラクの医師達、日本人医師（井下俊先生）。このような海外での素晴らしい協力により、信州大学の医師（2007年の当時小児科小池健一教授、2008年の坂下一夫医師）は、イラクの子供たちのがん支援についてさらに検討するようになりました。最初に分析が検討されたのは遺伝子研究でした。したがって、この国際協力を通じて、私たちは診断・治療・研究での優先順位を策定し、多くの目標を達成しました。抗がん剤やその他の薬を使うイラクの子供たちのサポート、そして多くの装置や機械を備えたイラクの小児腫瘍学センターのサポートです。

2020年にモスルで初めてフローサイトメトリーユニットをJCFを通じて設立し、ユニット内のすべての機器の提供をサポートするなど、新しいユニットの導入を可能にする非常に高度で高価な高品質のマシンも提供されました。

さらに、他の専門スタッフによるイラク国内または日本での医師および看護師を含むスタッフの訓練の支援。主に信州大学で。同時に、基礎医薬品、必要な設備、研修問題を支援するとともに、イラクの医師への研究資料の提供や学会の支払い費用の支援を通じて科学研究の支援を行いました。



2016年に名古屋大学大学院医学研究科はそのような共同研究に興味を持ち、次世代シーケンシング（NGS）を使ってALLとAMLのイラクの子供たちの遺伝子分析をするため、奥野友介先生が中心になって分析しました。

信州大学医学部小児科教授中沢洋三先生、田中みゆき先生、重村倫成先生、名古屋大学元小児科教授小島先生等とのコラボレーションによってなされました。

実際、遺伝学の研究は、人種や民族性によるゲノムドライバーと関連する不均一な生物学および多因子の病因メカニズムを持ち、環境要因との相互作用が可能であるため、小児急性白血病では非常に重要です。したがっ

て、最新の研究では、イラクの ALL または AML の66人の子供を対象とした包括的な遺伝子分析を行いました。注目すべきことに、私たちはこの分野でいくつかの研究を行っており、急性白血病のイラクの子供たちの遺伝的結果は、イラクの小児急性白血病の生物学が異なる可能性があることを示しました。私たちの結論は、イラクの子供たちの ALL と AML の両方で RAS 変異が高頻度であり、他の地域よりも有意に高い事を含むいくつかの発見がありました。

結論は、2つの研究で証明されました。さらに、他の研究と比較した場合、融合遺伝子 TCF 3-PBX 1（染色体上の遺伝子の結合変異）の前例のない高頻度、特にイラクの小児白血病患者における頻度は近隣諸国のものよりも有意に高い事が解りました。また、AML では、AML-M3 サブタイプ（急性前骨髄球性白血病）の頻度が異常に高いことがわかりました。これは、イタリアの医師とイラクの医師による他の共同研究と共に、私

ちイラク人医師が行った2つの独自の研究です。

イラク北部の腫瘍学者による研究では、AML の成人でも AML-M3 サブタイプの有病率が示されていました。

多くの研究者が、炭化水素を含む化学物質への環境曝露の役割、および小児急性白血病の背後にある危険因子を調査しました。さらに、RAS 癌遺伝子は、何らかの形で炭化水素やその他の環境傷害と関連していると思われる。しかし、そのような関連が実際に因果関係にあるかどうかは不明なままです。イラクは、繰り返される戦争中に潜在的な健康リスクをもたらす環境的および化学的危険にさらされていました。さらに、繰り返される戦争やテロの結果としてのイラクを特徴付ける混沌とした状況、および損傷したインフラストラクチャーは、癌を含むイラクのいくつかの健康面に悪影響を及ぼし、水質汚染と大気汚染が続いています。



明日につながる命のために ~イラクキャンペーン~

イラク、バグダード、小児福祉教育病院の Dr. マーゼンが頭をかかえています。SOS です。2010年、短期研修で来日した時に信州大学附属病院で使われていたベンディテクターを“これはすごい！”と購入し使われていたのですが、壊れてしまいました。子ども達の腕を見てください。小児科の医師や看護師さん達は大変です。採血する時も治療でカテーテルを付ける時も静脈を見つけづらいのです。ベンディテクターは腕にかざすと静脈を示してくれます。日本では普通のことイラクでは、まったくできていません。



今も尚、政治・経済が混乱している中で、保健省からの手当ては期待できず、外国からの支援に頼っています。JCF はささやかですが、Dr. マーゼンのリクエストに応え、「イラクの病気の子供達のために」ベンディテクターと小児用体温計・血圧計を贈りたい、とキャンペーンを企画しました。

フィリピンからも応援

松本市在住のマリア・コラゾンさんから、すばらしい協力をいただきました。「イラクの子供達の事を思いながら、フェルトでクラフトを作っていると私も元気になります。」マリアさんは、JCF スタッフ、リカ先生の友人です。フィリピン出身でお料理上手、小物作りが大好きです。たくさんのクラフトを作ってくださった上に、フィリピンのいここにイラクの現状と JCF



の活動について話しました。なんとフィリピンから、たくさんのクラフトが届きました。

ありがとうございます！！

イラク支援キャンペーンにご寄付いただいた方にマリアさんといこの方のハンドメイドのクラフトをお礼で送らせていただきます。

マリアさんからのメッセージ



優しさは伝染します。私は5年前に松本カトリック教会でリカがイラクのガン患者のために工芸品を販売しているのを見て、心を動かされました。以来、私は自ずから、イラクの子供達のためにささやかな協力を申し出ました。この子供達たちのために、少なくとも彼らへのあなたの愛を分かち合うことを期待しています。小さな事ですがとても心が洗われます。

聖書が言うように：神のために互いに愛し合うことは「愛」です。

JCF イラクキャンペーン

一口 3,000円 目標 100万円

- ベンディテクター 800,000円 / 本
- 小児用体温計 6,000円 / 本×10本
- 小児用血圧計 10,000円 / 個×5

お問い合わせは JCF / 日本チェルノブイリ連帯基金にお寄せください。

イラクの子ども達から 愛する日本の皆さんへ

アルビル在住教師
バン・ラフマニー



学校は、生徒が教育を受け、知識を深める場所ですね。私たちの学校は、教師の監督の下でさまざまな科学のおよび社会的活動を行います。主に、イラクのほぼすべての学校で標準的な教材としての宗教に加えて、言語学（アラビア語と英語）、数学、科学、歴史、地理、化学、物理学を教えることです。宗教的情報源としてのイスラム教は、すべてのイラクの学校の標準的な科目です。クルディスタン地域のほとんどの学校でも同様です。また、クルド語もすべての学校の授業で教えられています。アインカワのようなクルディスタン地域とキリスト教地域のごく少数の学校では、政府はキリスト教徒の学生だけが授業としてキリスト教を学ぶことを許可しています。私たちの文化に従って、生徒の考え、知識、能力を伸ばすことです。学校はまた、生徒が自分の性格、精神のおよび肉体的発達、

他者との関係、そして神との関係の精神的な側面を構築するのを助けます。



イラクの学校の段階：幼稚園、初等中等教育には（中学校と高校）が含まれます。高校の最終学年で、大学の入学試験で学生のランキングを認定します。どの大学かは、6年生の学生を中央政府のシステムによる競争で、合格するようになっています。

イラクの学校は毎年9月に始まり、翌年6



月に終わり、日曜日から木曜日までの5日間です（金曜日と土曜日は休日です）。授業時間は通常5時間を超えません。

教職員、学生は国内避難民（IDP）であり、モスル、アンバー、またはサラアルディンからのイスラム国の侵攻のために避難民となりました。

また、クリスマスカードを描いた子供たちはすべて国内避難民であり、現在はクルディスタン地域に住んでいますが、カラクシュなど、ニーナワー県内の故郷の村に戻った子供たちもいます。しかし、ほとんどは故郷に戻っていません。



イラクの中等学校は男の子と女の子に分かれています。私たちの学校は女性のみで、155人の女子学生がいます。すべてIDPです。クリスチャンの学生数は24人だけです。私たちの学校には、中級（1、2、3）と高学

年（4、5、6）の8つのクラスがあります。中学生の増加に伴い、1年生と2年生の2つのクラスを追加しました。

クリスマスカードを描いた子供たちは、日本へのプレゼントをとて喜んで描いてくれました。また、日本の方々がこれらのカードを受け取って絵を見てくださいますので、子供たちに日本人への愛と感謝の気持ちを表すように頼みました。これらのカードを描くために、私たちは、特にIDPを支援する日本と日本政府、そしていくつかの医療プロジェクトを通じてモスルとエルビルのイラクの病院を支援する日本のNPO（JCF）の役割について話しました。JCFはまた、イラクのコロナパンデミック時にモスル病院とエルビル病院を支援するために、エルビルのPHCに医療資材を提供しました。



私は中学1年生から6年生までにキリスト教学、聖書、イエス・キリストの人々へのメッセージ、その他の宗教的な問題について教えています。また、周辺の修道院や教会を訪問するなど、さまざまな活動を行っています。

私は、教会でも11歳から12歳の子供たちに教えています。金曜日はみんなの休日なので、毎週金曜日だけ授業を行います。私たちは聖書、教父の伝記、そしていくつかの祈りと賛美歌を読んでいます。

Christmas Cards 2021



アラブは美味しい Vol.03

アビル・アッブーディ (構成: 本山 香)



マクルバ (さかさまの赤飯)

~イラクの家庭料理~

材料

米	3合	トマトペースト	50g
水	3カップ	塩	小さじ半分~1
牛の塊肉	150g	こしょう	お好みで
ナス	4本	クミン	小さじ半分
ピーマン	1つ	パプリカ	小さじ半分
たまねぎ	1玉	カルダモン	少々



つくり方

① ナス、ピーマン、たまねぎを170℃に熱した油でさっと素揚げする。



トマトペーストを入れてふたをし、ごはんが炊けるまで待つ。



④ 鍋ごと平皿にひっくりかえして載せて盛り付けて完成。



② 牛の塊肉を茹でる。

③ 塩こしょうした肉とaのスパイス、①の野菜を鍋の下にしきつめ、といたお米3合と水3カップを入れる。



炊飯器で作ることもできますよ!

これまでグランドゼロに掲載した、アラブは美味しいシリーズのオクラマトスープ、ジャガイモ入りコフタのレシピ動画を YouTube で配信中です。ぜひご覧ください。



チェルノブイリから 35 年

長野県松本文化会館 館長 金井貞徳

「チェルノブイリから35年」と聞くと血が騒ぎ、「伝えることも支援」という言葉が脳裏をよぎった。すると、本橋成一監督の“ナージャとアレクセイの映画上映会”というイメージが浮かんできた。

1994年5月4日、私は「日本チェルノブイリ連帯基金」の第21次訪問団に参加し、ウクライナ共和国のプリピャチにいた。チェルノブイリ原子力発電所から3キロの町。発電所で働く人たちが暮らしていたが、1986年4月26日の原発事故により、住民は強制退去させられ無人の廃墟の町となっていた。通訳の方に、住民はどんな状況であったかを聞いた。「事故後すぐに、すべての住民はバスに乗せられどこかへ移された。その後どうなったかについては、分かりません」。周りを見ると、遊園地の大きな観覧車が見えた。事故直前に完成し、5月1日には運転が始まるはずであった。その姿は痛々しく、乗るのを楽しみにしていた子供たちの姿が想像された。子



埋葬の村にて

供たちは、強制退去させられ、その後どうなったのか。学校の建物があり、中を見ると机や椅子、教科書などが散乱。子供達はもちろん、大人達も何も持たずに強制退去させられたという当時の混乱した様子を物語っていた。

ベラルーシ共和国チェチェルスクは、美しい大地に清流が流れ森が広がる。だが、事故後の雨で放射能が降り注いだ「風しもの村」で、一部は立ち入り禁止区域であった。訪問時は、墓参りのシーズンで多くの人が戻ってきていた。顔の皺の深い背中を丸めた老女は語った。「放射能とか言っても、色も匂いもなく、村の自然は昔のままだ。この場所は、作物にも家畜にもとてもいい所だ。放射能汚染で危険だと言っても、もう年をとっていて、これから先そう長くはない。どうせ死ぬなら、生まれ育ったここで暮らして、ここで死にたい。息子や孫たちを危険にさらすわけにはいかないので、移住先で暮らすしかない。本当はみんなと一緒に暮らしたいが…」。

眼光鋭い70代の男性に、なぜここに残っているのかと聞いた。「出て行くように言われるが、わたしの住むところはここしかない。妻は亡くなってしまった。何年生きるか分からない私に、別の場所で暮らせというのか」。これらの言葉に、強い衝撃を受けた。

この時の訪問団には、本橋成一監督が参加していた。帰路成田から新宿への列車の中で、正面に座る本橋監督に、恐る恐るカメラの撮影法について聞いてみた。「私が写真家だということが、やっとわかったのですね」。茶目っ気たっぷりに笑い、説明してくれた本橋監督。すっかり、その人柄に魅了された。

1996年夏のベラルーシへの旅で、チェチェルスクで『ナージャの村』の撮影中であつた本橋監督と再会した。郊外の平原で、監督や撮影隊と共に、チェチェルスク病院の皆さんに作っていただいた昼食をご馳走になった。じゃがいも料理やボルシチ、ソーセージにパン、そしてウォッカ。湖や草原の美しさ、大地をわたる涼風の心地よさを満喫しながらいただいた料理。その美味しさに感激、すっかり酔ってしまった。



コトフさん・ナターシャとビデオレターの約束



11月3日、キッセイ文化ホール（長野県松本文化会館）で、本橋成一作品上映会「キネマまつぶんシアターvol2 35年目のチェルノブイリ in 松本」を開催した。上映作品は映画『ナージャの村』『アレクセイと泉』、最新報告映像『人間の汚した土地だろう、どこへ行けというのか』。本橋監督・神谷さだ子さん・大槻貴宏さんによるゲストトークも含めて6時間にわたる上映会となった。本橋監督は語った。「日本から撮影に行くと、つい悲劇性だとか『かわいそうだな』という気持ちの答えを求めてしまうが、思い込みを捨て、村の人たちの素直な思いを拾い上げる大切さを学んだ」。神谷さんは、コロナ禍も踏まえトークの終わり



に心境を述べた。「見えないものへの恐怖を前に、不安感で閉鎖的になる時、よりどころにするものは、自然や人と人とのつながりだという思いに至っている」。

鑑賞した方々から、感想をいただいた。「現在より四半世紀以上前に起きた現実、残った人々が自然と共にたくましく生きる姿に感動した。故郷を離れた人々が亡くなって、故郷に帰ってくる姿に、胸打たれた。原発で汚染されるという事の現実を見せつけられた思いがする。日本の2011年と重なる」。

「人間の生の原点に帰ったような気がしました。土地・ふるさととは命の源、決して汚してはならない」。

企画立ち上げから1年、ついに実現した上映会。本橋監督とポレポレタイムス社の皆さん、神谷さんとJCF事務局の皆さんには力強いご協力をいただき、心からの感謝を申し上げます。

今回、『ナージャの村』、『アレクセイと泉』を再見して、放射能汚染地区、強制退去地区

で暮らす人々の想いが、しみじみと伝わってきた。広大で美しい自然、りんごの木、馬や犬、山羊と共に生きる人々の姿。そこに、アルカジイ・ナボーキンからの言葉「人間が汚した土地だろう、どこへ行けと言うのか」が響きわたった。



帰路 草原で歌う小室等さん

1994年5月のチェチェルスクでの交流会では、小室等さんが『雨のベラルーシ』を歌った。「思い出の街ベラルーシ 君と過ごしたベラルーシ リンゴの花をきみの 髪に飾ったあの日・きみの肩を抱いて 歩いたソージュの岸辺 ゆるされるなら 時間よ戻れ きみのいない五月の 雨のベラルーシ」。『ナージャの村』の冒頭、林檎を摘むシーンを見ると、あの日のチェチェルスクの情景が浮かんできた。ソージュ川の岸辺には、早春の爽やかな風の中、林檎の白い花が咲き、清流には陽光がきらめいていた。

チェルノブイリから35年、福島から10年

のどかに俯瞰されるドゥチチ村、ブジシチエ村はチェルノブイリ原発から約200キロ弱に位置する。風に乗って運ばれてきた放射性物質はゴメリ州を最も汚染した。1992年から、この地に通い始めた私は、街の集合住宅に移住するために荷物をトラックに運び込む光景を何度も目にした。人が住まなくなると屋根のスレートをはがしている泥棒もいた。電線が外され、家屋が取り壊されていった。通りに沿って、村が燃えて無くなっていった時もあった。

それが「埋葬の村」。チェルノブイリを語るときの一つの象徴だった。移住を拒み、その地に住み続ける老人達をサマシオールと呼ぶ。そういう人たちは福島にもいる。若者、子ども達は一刻も早く避難してほしいと願い続けている。35年、10年経っても消えない放射性物質にアルカジイ・ナボーキンさんの言葉が聞こえてくる。「人間が汚した土地だろ

う。どこへ行けと言うのか」全ての環境問題に言える問いかけだと思う。

11月3日、松本市のキッセイ文化ホール（長野県文化会館）で開かれた本橋成一作品上映会35年目のチェルノブイリには、400名を超える方々が足を運んでくださった。コロナで集会を開くことが難しい中で、企画実行してくださったキッセイホールの金井館長をはじめ、関係の方々に感謝申し上げたい。チェルノブイリ、福島を伝え続けることが私たちJCFの使命だと思っている。



大槻さん・本橋さん・神谷 © MIZUYA Akio

アンケートに寄せられた参加者からの感想

- 忘れてはいけないこと、35年前のこの美しい風景、この生活、この生き方、また、今のナージャ、アレクセイに出会い、この時間を考えさせられました。
- 毎日の生活が大変なのに日本人たちより明るい感じがしました。人間は老いるがそれを受け入れていきられることを恐れずに、その地が一番と言っているようで、自然に溶け込んでいる姿は学ぶべき事に思う。バヤーン音楽がちょっとさびしげですてきでした。
- ずっと見慣れた光景・環境が汚染されていると言っても、豊かな自然は広がっている。新しい土地に行って暮らすのは、若ければ思うのだろうか。諦めの気持ちかなど。死を覚悟して暮らす自己責任で日本はどうだろうか。
- 素朴な自然の美しさと人間の営みに感動し、同時に人間の犯した罪の深さを感じました。私たちの問題でもある、と感じました。
- チェルノブイリの悲劇・・・？ステレオタイプの思いが覆されました。きれいだからこそ心にしみみます。村人達は、大地に根ざした詩人ですね。共に過ごしたからこそ、見えてくる物があるんですね。自然と人とのつながりがいかに心をいやしてくれるか実感しました。
- 現在より四半世紀以上前に起きた現実の生活、残った人々が自然と共にたくましく生きる姿に感動した。故郷を離れた人が亡くなって、また、故郷に帰ってくる姿に胸が締め付けられる思いがした。原発に汚染されるということを見せつけられた思いがする。日本の2011年と重なる。
- ナージャの村とは時間の差はあるものの、福島的事を感じられました。その中でも、笑顔で悲壮感がなく、前を向いて歩いているように思いました。日常が一瞬にして消えるというのは、こう言う事かと思いました。

銀幕のスター

JCF 理事 小池 保寛

その彼は穏やかで素朴な笑顔の持ち主である。汚染されている土地で野菜を育て皆と分け合い、日常を駆け抜けてブジシチェ村で精いっぱい生き抜いている。その村にある泉は汚染から逃れ、脈々と清らかな聖水を民に与える。そんな一幕の中心にアレクセイはいた。映画『アレクセイと泉』の主人公である。

先日、神谷事務局長からお誘いをいただき、久々にJCFのMEチーム藤牧さん、樹神さんと本橋監督の上映会に足を運んだ。いつの間にか銀幕デビューをしていた神谷さんに見とれる間もなく、本橋監督のスチール写真の圧倒的な力強さと、人間の奥底にある生命力を引っ張り上げたかのような熱量のある作品に心を奪われた。ベラルーシの大地はどうなっているか、感じた大地の匂いはそのままか、監督の作品は一気に我々をあの土地に引き戻してくれる。

MEチームは過去に医療支援でゴメリ州立

病院を訪問する機会をいただいた。医療機器の寄贈を通して治療への貢献が出来たと満足しつつ、その後の継続的な交流ができていない現実に後ろめたさは否めない。交流が途絶えることは機器のパーツ提供が途絶えることを意味し、現場スタッフと取り交わした口約束という曖昧な契約書をいつまでも胸の奥に閉まったまま侘しさを抱えている。

トークイベントが始まった。

本橋監督と神谷事務局長の2019年現地取材した報告映像に50歳を迎えたアレクセイが映し出される。人柄が表れる。素朴な笑顔はそのままだ。現在は村を離れ町に住む彼に、お金が貯まったらブジシチェ村に帰りたいかと問う。彼は町に残ると言い切ったと本橋監督が教えてくれた。ホールにいた観客は誰もがいずれ村に戻って農業を始める美談を期待したであろう。美談を勝手に作り上げて期待し、農業の厳しさも安易に捉えて汚染地区で



© MIZUYA Akiyo

働く彼を、どこかで待っていたことに気づき恥ずかしくなった。

そう、時は流れ、国も豊かになりアレクセイも我々も当時には戻れないのだ。

事故から35年が経つ。医療支援で訪問したチェチェルスク地区の人口は当時3万人だったが、事故後8千人まで激減した。最近では1万5千人まで回復してきたと経済紙で読んだことがある。大きな要因は農業だと書かれてあった。

大規模農業法人が大規模に小麦、大麦を生産し雇用を生み出す。まだまだ汚染で使えない土地も多いが、農作物への放射性物質の移行を抑えるなどの対策をして年間1万トン生産する企業もあると言う。確実に時は流れているのだ。

日本にも同様に汚染された土地と戦いながら、故郷に想いを馳せ失った時間を取り戻そうとしている人々がいる。

チェチェルスクがそうであったように時間が解決してくれることを願い、共に食べ共に笑い、仲間と喜びを分かち合える肌感を私たちは忘れてはいけない。

事故後、早い段階でチェチェルスク地区に

入った当時のJCF 渡航メンバーから

こんな話を聞いたことがある。荷馬車で移動し、ゆっくり時間が過ぎていく日常で目覚まし時計が要らなかったと。近くのパン屋が毎朝焼き上げる香ばしい黒パンの匂いで勝手に目は覚めるらしい。35年が経ち風景は変わっても香ばしい黒パンはそのままだ。ベラルーシの小麦が美味しいからこそ人々は集い丁寧に育て上げて収穫しているのだから。

全世界はコロナとの戦いに疲弊しても、僅かな希望を手繰り寄せて進んでいる。

見えない敵との戦いは放射能も一緒である。どこが終着駅か路線図には無い。

チェチェルスクの人々が終着駅は自分たちで作れと教えてくれている。

上映会が終わり、隣にいた樹神さんがしみじみ語った。

『久しぶりにいい映画を観たな』

一人の青年の生き様は映像を通して熱となり、観客に届き共鳴したのだろう。

少しだけ元気をもらった。そしていつの日か映画の中の彼を観るだろう。

僕たちにとっての銀幕のスターは、アレクセイ君なんだから。

映画「MINAMATA」から思うこと

～見て、感じて、そして、自分で考えてくれ～

JCF 正会員（塩尻市） 中野 実佐雄

映画の最後に流れるエンドロールに「人為的な事件」が流れる。その中には「1986年のチェルノブイリ原発事故」と「2011年の福島第一原発事故」が含まれている。この映画を観て、観た者として何を考えなければならぬのか。

この映画のことを知るまではユージン・スミスのこと、写真集「MINAMATA」のこと知らなかった。5月にニュースで俳優のジョニー・デップが「MINAMATA」という映画を作って9月に日本国内で上映されるということを知った。このニュースは私にとっては衝撃であった。というのも水俣病は日本人なら誰でも知っているはずであり、教科書にも載っているからである。しかし、写真という形で世界に知らしめたのはユージン・スミスであり、水俣病の公式確認から65年が経ち、映画という形で後世に残そうとしたのはジョニー・デップである。日本国内の出来事であるはずなのにである。記録し伝えていこうとしなければならぬ当事者は日本人であるはずなのだが。

ジョニー・デップは2020年のベルリン国際映画祭の公式記者会見で「一人の関心を持つものとして、この歴史は語り継がなければならないと思いました。映画の持つ力をフルに活用して、伝えたいメッセージを発信することが我々の願望でした。」と語っている。映画人としてユージン・スミスの写真集「MINAMATA」に接した時の素直な感情なのだと思う。同時にこうも語っている「私

たちは皆、ただの一片のホコリであり、同時に小さな力なのです。私たちが窮地に立たされたとき、誰かが率先して、巨大な壁を壊そうとすれば、きっと大勢の人々が後に続いてくれるはずですよ。」と。水俣病は、写真となり映画のなったというだけで解決する出来事ではない。今も、この事実を苦しむ人があるというのが現実なのだ。そして、水俣病は、人類の文明の発展という飽くなき欲望の結果として現れた事象なのである。映画のエンドロールは、このことを伝えようとしている。

この映画はユージン・スミスという写真家を通じて、水俣で起きた出来事を伝えている。と同時にユージン・スミスという人間が社会と向き合う姿勢と“人間”を見る心を伝えている。

この映画を観終わった後で、「魂を撮ろう」（石井妙子著）を読んだ。映画を観ているという予備知識もあり、水俣病の背景を読み取れることは案外と容易であった。ユージン・スミスが水俣での撮影に至るまでに、当時彼の妻であったアイリーン・美緒子・スミスの果たして役割も詳しく知ることができる。そして、アイリーンとユージン・スミスが共に水俣に導かれ、水俣で作品を撮ったことは偶然の巡り合わせではなく必然そのものであったのだと、この本を読みそう思った。

写真集「MINAMATA」は1975年にアメリカで出版された。日本語版は1980年に三一書房から出版されている。そして映画化を機に今年9月に新版「MINAMATA」として

再び出版された。この写真集の写真たちは、単に水俣病の記録を撮るとか、水俣病の責任を追及していくとかという作品ではない。水俣に生きる人々の苦悩と人間としての“生”を映し出している。それは、被害、加害を問わずに。そう感じとった。

この写真集の中の「入浴する智子と母」は1990年代後半ころから写真の公開がされなくなった。撮影された智子の家族からの申し入れがあったためだ。著作権はユージン・スミスが持ち、その後アイリーンが権利を相続している。著作権はアイリーンにあるのだが、アイリーンはユージン・スミスの意思を継いで公開しないと決めている。ユージンは「写真家には二つの責任がある。一つは被写体に対する責任。もう一つは写真を見る人々に対する責任。この二つの責任を果たせば、必然的に編集者・出版界に対する責任が果たされる。」と言っている。そして写真を撮ったものは、その写真を公開することの責任を負っている。ユージンはそんな思いを暗室の壁に落書きをしていた。

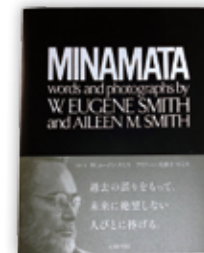
※参考図書

映画「MINAMATA」
公式パンフレット

ユージン・スミス、
アイリーン・美緒子・
スミス著
「MINAMATA」
クレヴィス



石井妙子著
「魂を撮ろう」
文藝春秋



高峰武著
「水俣病を知っていますか」
岩波ブックレット

私の写真たちは

とても静かに言う

君、見るんだ、これを見て

そして耳を傾けて

君、見るんだ、これを見て

そして考えて

君、見るんだ、これを見て

そして反応して

私が強いからではなく

君が反応したから

私の写真たちはとても切実に

しかし、とても静かに、君に求める

君が考え、感じることを

これが私の、

私の写真たちに希望することである。

映画もまたそうである。見る側の思考が次の行動に移る。水俣だけではない様々な課題、人為的な課題に今、直面している。一人ひとりが「考える」ことが求められている時代だからこそ、この映画の持つ意味は大きい。

—誰かが率先して、巨大な壁を壊そうとすれば、きっと大勢の人々が後に続いてくれる—

不知火の海を汚したのは

JCF 神谷 さだ子

今から、40年前、熊本県水俣市を訪ねた。三角半島を不知火湾に沿って巡った。3月頃だったと記憶する。

チッソ水俣工場があり、不知火湾にそれほど太くはない排水管が出ていた。「百箇口（ヒヤッケンコウ）」と聞いた。写真家ユージン・スミスさんが、配水管の上、同じ位置からシャッターを押していた。チッソが不知火の海に有機水銀を含んだ廃液を垂れ流していた配管だ。9月末に松本で「MINAMATA」が上映されている事を知り、観に行った。水俣は、その後、阿賀野川有機水銀中毒、四日市ぜんそく等、日本の公害の原点とも言われる。そして、私には、もう一つ汚染された地域で、人々の悲痛な声を聞き取っていった石牟礼道子さん、緒方正人さん、原田正純さんと共にユージン・スミスさんがいる。更に水俣で立ち上がった人々から続く、熊本の女性

達は、私に生きる道筋を教えてくれた。“くまもと水と緑を守る会”は合成洗剤を使わない「せっけん運動」をしていた。“有機の会”では農薬や化学肥料を使わない野菜作りを勧め、販売していた。自らの暮らしは自分たちの納得した方法で営んでいく大切さを市民活動へとつないでくれた地だ。不知火の魚を食べ、神経系が犯されていく。



芦北観光協会 HP より うたせ船

胎児性患者を両腕に抱える母の慈しみ・・・何者にも換えがたい存在のありがたみが伝わってくる。途方もない大きな痛みが私たちに伝えてくれる命・暮らし・人生をこのコロナの中でも改めて噛みしめている。有り体に言う便利で豊かな生活が、いかに多くに人々の哀しみの上に築かれたものであるか、みなまたは教えてくれた。また「MINAMATA」では、札束で頬をたたき企業と立ち上がり企業に抗議する人々をとらえている。長年に渡って認定訴訟で戦い続けた人々の顔が浮かんでくる。おだやかな海に大きく帆を張ったうたせ船、豊かな海の恵みが憤りへと変わった。

自然と人間の関わりが壊れた「みなまた」は、ユージン・スミスさん、アイリーン・スミスさん、ジョニー・デップさんによって、今、目の前に立ちはだかった。

ドイツ連立政権の気候保護目標について

～マインツからのエコ便り～

マインツ友の会
柳田 逸枝



9月末のドイツ議会選挙の結果、中道左派のSPD（社会民主党）、緑の党、経済界寄りのFDP（自由民主党）の3党による連立政権が発足する運びとなりました。ちなみに緑の党の総合得票率は第1党となったSPDの25.8%、今回の連立政権には入らないCDU（キリスト民主同盟）の24.1%に続いて14.8%ですが、44歳以下の投票結果では群を抜いて第1党であり、25～34歳のグループにおいては約30%の得票率を得ました。緑の党は気候危機だけではなくジェンダー格差の解消にも積極的（同党の首相候補は41歳のアンナレーナ・ベアボック）で、難民・移民の受け入れや多様性も推進しているので気候対策だけがこの高支持率の原因とは言い切れませんが、若い世代の気候危機への危機感の高さを示していると言えます。

新政権の連立政権契約の導入部分には「パリ協定の達成が最重要目的」であり、すなわちそれは市場経済を「ソーシャル・エコロジカルな市場経済として新しく議論すること」だ、とあります。メルケル首相が率いた前政権よりも気候危機対策に重きを置いており、特に再生可能エネルギーの推進をスピードアップするとしています。ただしその具体的な方法については2022年のうちに気候保護法案を改定する過程で議論を重ねて詳細を決定し、それに基づいて「気候保護一時的プログラム」を設定する予定です。連立契約の中にはさらに産業革命前からの気温上昇を1.5度に抑制するという目標を実現するために、新ビジネスモデルや技術等を使った必要なアクションを取るという意欲が示されており、運輸、建築、発電、産業、農業の全分野の貢献が求められるとしています。今後は全ての分野における立法立案前に担当省庁がその内容が1.5度制限枠に入るかどうかという「気候チェック」を入れることになる予定です。

現時点で発表されている主な目標は以下の通りです。

1. 2030年までに全エネルギーに占める再生可能エネルギーの割合を80%にする。
2. 2030年までに石炭火力発電を廃止する（条件つき）。
3. 2030年までに熱エネルギー生産の50%をカーボンニュートラルにする。

これらの目標を達成するためには現存する風力・太陽光発電インフラの急拡大が必要となります。そのため、全16州に例外なく土地の2%に風力発電用地にするという具体的な数値も発表されました。これまで生態系保護という観点から風力発電計画が中止となってきた経緯を踏まえて、風力発電設置の条件を緩和する意向です。送電線の設置にも市民団体等の反対などで判決が出るまで何年もかかるケースが出ており、新連立政権がそのような問題にどう対処していくのかが注目されています。

新連立政権は水素にも大きな希望を見出しており、2030年までにドイツが世界の水素市場をリードすることになると予想しています。隣国のフランスは水素マーケットへの助成金として一足先に300億ユーロという具



7才の息子も興味津々

体的な金額を上げていますので、専門家の間では独断でいい意味での競争が産まれるという意見もあります。私たちの住むマ

インツでも今年の秋に水素で走る燃料電池車であるゴミ収集車が市民に紹介されました。たまたま息子とイベントの日に通りがかったので、大きくて立派なゴミ収集車の運転席に試乗できた息子は大喜びでした。このタイプのカーボンニュートラルであるゴミ収集車は従来のものと比べてCO2を年間に約30トン削減することになるそうです。このタイプの車両を所有する自治体は、ドイツでもまだベルリン、フライブルク、ピーレフェルトなどほんの一握りだけとのことで、マインツ市民としても鼻高々なニュースでした。



水素で動く燃料電池車・ゴミ収集車
撮影者（著作権） ©Entsorgungsbetrieb der Stadt Mainz

2021年秋のキノコ測定 横内 香苗

今年もキノコシーズンが終わりました。この秋 Team めとばが所属している「みんなのデータサイト」のキノコプロジェクトに参加しました。データサイトが全国17都府県のデータを集結しまとめます。そのため Team めとばでは県内に関わらず県外からも可能な限りキノコを提供してもらい、測定を行いました。

結果は表のとおりです。ネットを通して販売している業者さんも協力してくれました。昨年プロジェクトで100Bq/kgを超えた値のキノコがメルカリで販売されていた例もあるため、心配した業者さんが自ら申し出て下さいました。福島第一原発から300km離れた長野県でさえ、まだまだ野生キノコの放射能は種類によって気を付けなければならない事が測ってみてわかりました。



2021年チームめとば きのご測定結果

検体番号	測定日	検体名	産地	検体重量 [g]	測定時間 [s]	Cs-137	Cs-134
g2425	2021年8月24日	なめたけ	長野県	999	18000	ND < 2.51	ND < 2.83
g2428	2021年9月12日	サクラシメジ	長野県松本市	298	54000	8.14 ± 2.86	ND < 4.93
g2430	2021年9月15日	オオヒラタケ	長野県上田市	432	54000	ND < 3.06	ND < 3.44
g2435	2021年9月20日	ハナイグチ	長野県飯山市	667	54000	19.4 ± 3.59	ND < 2.54
g2437	2021年9月21日	ショウゲンジ	長野県安曇野市	446	54000	22.4 ± 4.2	ND < 3.64
g2438	2021年9月26日	ショウゲンジ	長野県長和町	434	54000	120 ± 21.7	3.7 ± 2.12
g2439	2021年9月27日	なめこ [原木]	長野県上田市	369	54000	ND < 3.52	ND < 3.98
g2440	2021年9月28日	ショウゲンジ	長野県飯山市	527	54000	147 ± 26.6	5 ± 1.3
g2441	2021年9月30日	ハナイグチ	長野県山ノ内町	892	54000	2.31 ± 0.7	ND < 1.78
g2443	2021年9月29日	ナラタケ	新潟県妙高市	633	54000	ND < 2.19	ND < 2.47
g2446	2021年10月10日	アイシメジ	長野県上田市	179	54000	66.8 ± 12.5	ND < 9.07
g2451	2021年11月3日	しもふりしめじ	長野県上田市	326	54000	ND < 4.04	ND < 4.57
g2453	2021年11月7日	雑キノコ	長野県長野市	497	54000	5.07 ± 1.24	ND < 3.06
g2455	2021年11月8日	なめたけ	山梨県北杜市	598	54000	ND < 2.28	ND < 2.56

事故から10年経つともう大丈夫だろうと油断しがちです。測定の依頼数も以前よりずっと少なくなりました。みんなのデータサイトのように測定した全国のデータをまとめて下さる場所がある事で日本の原発事故の現状がわかります。この原稿を書いている11月15日、イノシシとニホンジカの狩猟が解禁になりました。それと同時に長野市の方から鹿が捕れたのでお肉を提供して下さいという連絡が入りました。野生動物も未だに放射能汚染されている可能性があります。県でも調べているようですが、なかなか一般には知られていません。

知らないうちに被曝しないためにも測定を続けて行きます。測定依頼・検体の提供は以下までメールかお電話にてお問い合わせください。

日本チェルノブイリ連帯基金事務局
電話：0263-46-4218 e-mail: asama@jcf.ne.jp

JCF Team めとば 食品等放射能測定結果 (測定結果公表可のデータのみ) 2021年8月18日~2021年11月末

検体番号	測定日	試料名	産地	重量 (g)	測定時間 (s)	Cs137測定値 (Bq月kg)	Cs134測定値 (Bq月kg)
g2421	2021年8月18日	小麦粉 [南部小麦]	岩手県	676	54000	ND < 1.95	ND < 2.2
g2422	2021年8月19日	砂	群馬県前橋市	862	54000	75.5 ± 14.3	2.52 ± 1.36
g2423	2021年8月22日	土壌	群馬県前橋市	463	54000	228 ± 43.9	29.7 ± 5.45
g2424	2021年8月23日	腐葉土	群馬県前橋市	211	54000	83.1 ± 15.2	ND < 7.99
g2427	2021年9月8日	サツマイモ	茨城県	662	18000	ND < 3.53	ND < 4
g2431	2021年9月14日	栗 [渋皮付き]	福島県福島市	658	54000	ND < 2.08	ND < 2.37
g2434	2021年9月16日	土壌	群馬県前橋市	772	54000	247 ± 45	10.2 ± 1.99
g2452	2021年11月4日	灰	長野県長野市	691	54000	18.5 ± 3.48	ND < 3.53
g2456	2021年11月11日	土壌 [土壌 S-③]	群馬県前橋市	647	54000	31.9 ± 57.6	9.99 ± 2.02
k2426	2021年8月31日	サツマイモ	茨城県	661	18000	ND < 3.6	ND < 4.06
k2432	2021年9月14日	枝豆	北海道	734	18000	ND < 3.36	ND < 3.8
k2436	2021年9月23日	ごぼう	群馬県	573	18000	ND < 4.17	ND < 4.7
k2442	2021年9月29日	大根	北海道	567	18000	ND < 4.05	ND < 4.6
k2445	2021年10月6日	ニンジン	北海道	629	18000	ND < 3.74	ND < 4.21
k2447	2021年10月11日	カボチャ	北海道	633	18000	ND < 3.76	ND < 4.24
k2448	2021年10月18日	生姜	北海道	542	18000	ND < 4.35	ND < 4.93
k2449	2021年10月24日	里芋	埼玉県	752	18000	ND < 3.39	ND < 3.8
k2450	2021年10月31日	牛乳	長野県	1008	18000	ND < 2.47	ND < 2.77
k2454	2021年11月7日	大根	茨城県	661	18000	ND < 3.57	ND < 4.01
k2459	2021年11月14日	白菜	長野県	549	18000	ND < 4.4	ND < 4.91

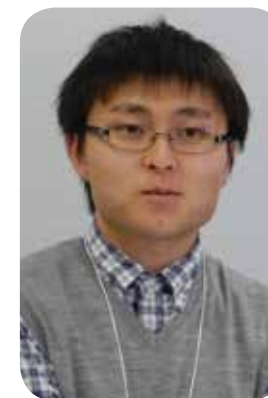
NDとは検出限界値未満のことで、ND<の右の数字が検出限界です。検出限界とは放射能を検出することのできる下限値で、有意な放射能とは、統計的に見て、バックグラウンド値と明らかに異なる放射能が検出されたと判断できるということです。(単位: Bq/kg) 放射能濃度には誤差 (±の右の数字) があります。

※検体量が少ない場合は、測定結果の精度が十分でない可能性があります。

食品衛生法上の基準値
(厚生労働省 医薬食品局食品安全部 平成24年4月1日施行)

放射能セシウム	飲料水	10Bq/kg
	牛乳	50Bq/kg
	一般食品	100Bq/kg
	乳児用食品	50Bq/kg

Team めとば OB 宮澤和久さんの現在の様子



「チームめとばで見つけた針路」

私は大学四年次から修士課程一年次まで、Team めとばに参加しました。Team めとばに参加することになったきっかけは、部活の先輩から紹介されたことです。どこか他人事を感じていた東日本大震災を、少しだけ身近なトピックにできることに魅力を感じました。

Team めとばでは、松本市内の学校と保育園の給食に使われる食材や、市民の方から依頼された検体を測定しました。市内の高校に放射能についての出前授業に行ったり、付近の山に測定用のキノコを採りに行くこともありました。Team めとばでの活動を通して私が学んだことの一つに「コケには放射性セシウムが蓄積しやすい」があります。この学びがきっかけとなり、修士課程二年次から愛知県岡崎市にある研究所でクマムシがもつ生体分子の研究をしています。強力な放射線耐性があるクマムシがコケに生息すること、クマムシの生態には明らかになっていないことが多いことを知り、興味を持ちました。私は来年度から大阪の民間企業に就職します。長野から愛知そして大阪と、距離的には被災地から遠くなりますが、心は震災から離れることなく、これからも気に留めて邁進していきたいと思えます。

ふりこみ用紙のメッセージから

皆様頑張って下さい！

グランドゼロNo,127を有難うございました。

カンパです

福島の子供達元気に育ってね。頑張って(^ ▽ ^)

炭に希望を感じました！

必要なところに使ってください。

講演活動等できず、NPOは収入減だと思います。応援のため、正会員に賛助会員からなります。

大変なことをやっておられる感謝の気持ち。わずかですが。

この夏は、コロナに猛暑、本当にきつかったです。これに更に放射能が加わったら...？本当になんとかしなくては！

いつもJCFの活動お疲れ様です。チームめとばの活動もありがとうございます。

長い間グランドゼロの送付ありがとうございました。申し訳ありませんが、今回をもって終了させていただきたいと思ひます。ありがとうございました。

伊拉克はワクチン大丈夫ですか？

柏刈原原発5k圏内に住む人です。Teamめとばにご活用ください。「神隠しされた街」がふえないように力をあわせましょう！

ずっと思い続けていく、それしか今はできませんが、応援のしるしです。

GO!GO! トラちゃん

JCF 募金キャンペーン！ 2022 寅



来年の干支はトラですね！
 毎年恒例になった募金箱。
 日本チェルノブイリ連帯基金では
 伊拉克の白血病・小児がんのこども達の
 医療支援と福島原発震災の被災者支援を
 継続していきます。是非募金箱で JCF の
 活動を応援してください。
 トラちゃんを預かって下さる方は
 郵送しますのでご連絡ください！



◆ お問い合わせ・連絡先 ◆

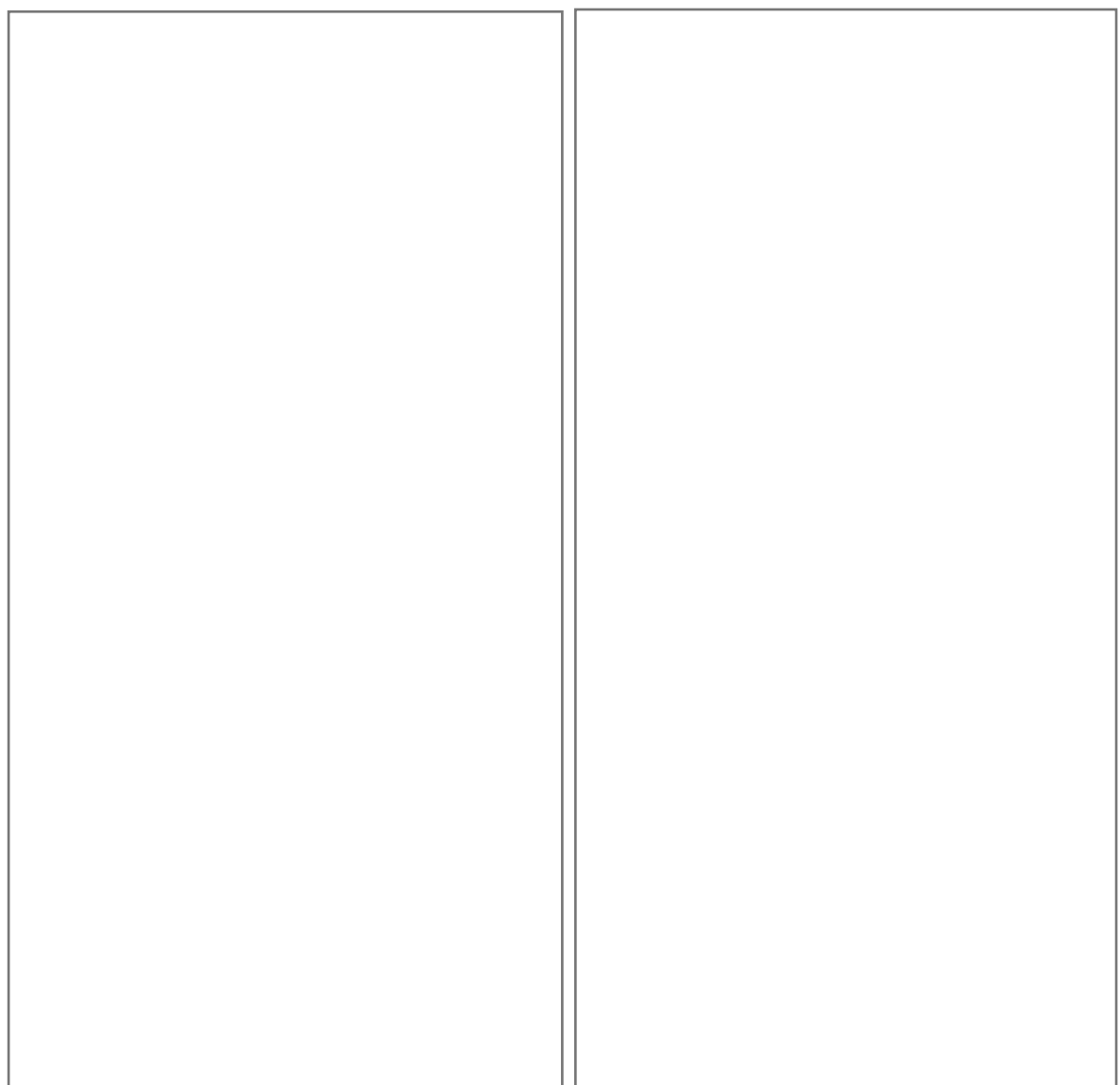
参加ご希望の方は郵送いたしますので下記までご連絡ください。
 尚、今年の干支の募金箱“ウッシッシ”をお持ちの方もご連絡お待ちしております！
 電話：0263(46)4218 FAX：0263(46)6229 Email：asama@jcf.ne.jp



JCF お問い合わせフォーム：右のQRコードを読みとって下さい。

ありがとうございました！

*2021年8月1日～2021年11月15日に会費・ご寄付を納入して下さった方々のお名前です。寄付種別の記載のない方は一般寄付に登録いたしました。敬称は略させていただきました。本欄へのお名前の掲載を希望されない方は振込用紙の連絡欄に「匿名」とご記載下さい。なおウェブ閲覧用の本誌電子書籍には本欄は掲載しません。



他、匿名の方々からもご支援いただきました。皆様ありがとうございました。